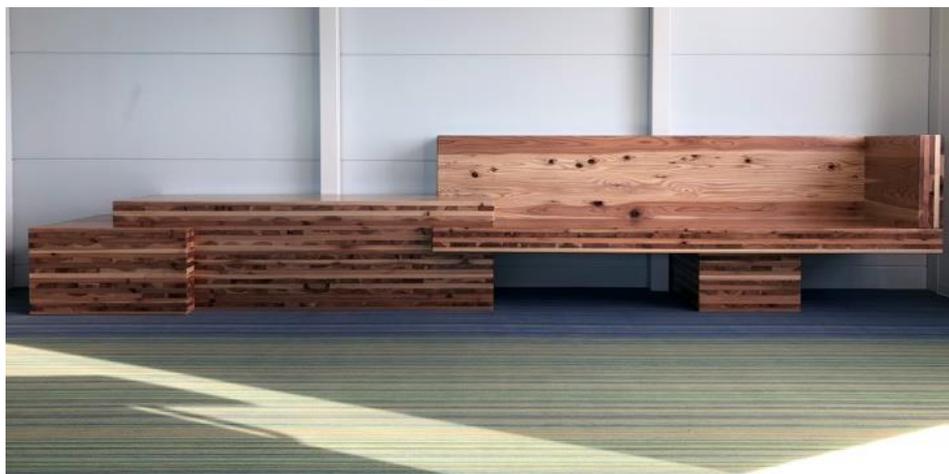
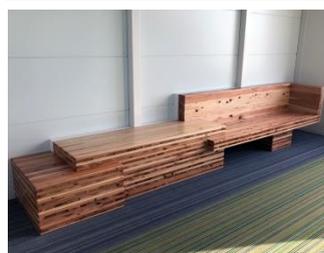


プロジェクト写真



製品概要

材 質：宮城県産CLTパネル

サイ ズ：タイプ1 L9620×W650×H900 タイプ2 L4520×W750×H900

所 在 地：宮城県名取市 仙台空港内 ピア棟

完 成：2018年10月17日



製作メンバー



展示協力：仙台国際空港株式会社

設 計：株式会社 SPAZIO建築設計事務所

制 作：CLTパネル製造/西北プライウッド株式会社

CLTプレカット/株式会社山大

CLTベンチ制作/守屋木材株式会社

組 立 /株式会社奥羽木工所

監 修：東北大学大学院工学研究所 都市・建築専攻前田研究室

協 力：フェニーチェ東北ホーム株式会社、物林株式会社

協議会 取り組み

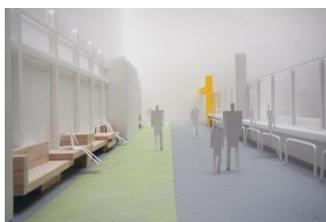


2016年7月に民営化された仙台空港において、更なる旅客数増加に対応すべく旅客搭乗施設ピア棟が新設された。

その東北の空の玄関口にふさわしいベンチ制作・設置協力を仙台国際空港(株)様より依頼を受け、協議会、仙台国際空港(株)様協働による実行方法等の検討が行われ、デザインコンペを実施した。学生から建築家までの様々な協議会に関わるメンバーの参加により9案応募があり、CLTの特性を活かしたデザイン、利用方法が含まれた株式会社SPAZIO建築設計事務所/田中 洋平 氏の作品が選ばれた。

その後実施に当たり設計者を中心に県内CLT製造会社から加工、組立会社までの複数社による協働作業チームを構成し、実施協議を行った。

設計趣旨



CLTは、立てれば柱や壁となり、横にすれば床や梁の役割を果たす特徴から、建物の様々な箇所に利用でき、子供の玩具であるブロックのように、積み重ねたり、組合せたりできる木質材料である。このベンチは、そのようなブロック玩具を着想に、2種類のブロックパーツ「パネル」と「かたまり」を基本構成とし、ブロックの形状や組合せを変化させる事で、様々な場面に展開できるように設計している。

設計の中で「宮城県産杉CLT材」の2つの特徴を取り込んでいる。

特徴の一つ「構造強度」は、ベンチ端部の片持ち形状や、2種類のパーツが組み合いながら連続することで、ベンチ全体が総合的に安定する「総持ち」の構成で表わしている。

もう一つの特徴「積層断面の意匠性」は、CLT材の小口面を正面に向けて積み重ねることで、木材の立体的な量感を感じ取れる意匠とした。

ベンチの形状は、座面の高さを3種類に変化させる事で、座る行為にバリエーションを持たせている。座る高さが異なる事で、年齢や性別、利用シーンに合わせて座り方が選択できる。また高さの異なるブロックが、ベンチとテーブル・背もたれの関係になり、多様な利用ができよう考えた。

※ 設計から完成までの経緯と設計で苦労した点

デザインコンペにて選定された後は、宮城県CLT等普及協議会に於いて制作チームを発足し協議を進めた。コンペ時の設計案を元に設置者側（仙台空港）から要望を頂戴し、設計案の調整に取り組んだ。その中で座席数を増やす要望を受けて、原案のカウンター部分を縮小し機能性を確保できるように繰り返し模型を作り、制作チームで時間と労を費やし検討した。

（株式会社SPAZIO建築設計事務所 田中 洋平）

設計者



所属：株式会社 SPAZIO建築設計事務所

名前：田中 洋平

・山形県出身

・東北芸術工科大学

アクセス

JR 仙台駅
JR 東北本線乗車
|
仙台空港アクセス線
仙台空港駅

住所：

〒989-2401

宮城県名取市下増田字
南原無番地

※CLTベンチは「出発ロビー」に設置されています。
見学のみでの入館はできません。

